

看護師 募集

2024年4月1日採用版



福岡県済生会飯塚嘉穂病院



済生会のあゆみ

明治44年、明治天皇は「恵まれない人々のために施薬救療事業を起こすように」との済生勅語に添えて、お手元金150万円(当時270万円で東京駅が出来ました)を下賜されました。

当時の桂太郎総理大臣は、その御下賜を基金として全国の有志から寄付金を募って済生会を創立しました。

平成23年5月に、済生会創立100周年を迎えました。

済生会の紋章と「撫子の歌」

初代総裁であられた伏見宮貞愛親王殿下は、次のような「撫子の歌」をお詠みになった。

露にふす 末野の小草 いかにとと あさ夕かかる わがこころかな

済生会の紋章



病院概要

(2023年4月現在)

名 称	社会福祉法人 <small>恩賜財団</small> 済生会支部 福岡県済生会飯塚嘉穂病院
所 在 地	〒820-0076 福岡県飯塚市太郎丸265
連 絡 先	TEL 0948-22-3740 / FAX 0948-29-1987
代 表 者	院長 迫 康博
開 設	平成19年4月
敷地面積	64,583㎡(東京ドームの2倍)・延床面積：14,686㎡
診療科目	内科、呼吸器内科、糖尿病内科、膵臓内科、消化器内科、リウマチ科、緩和ケア内科、脳神経内科、心療内科、心療精神科、外科、整形外科、眼科、循環器内科、皮膚腫瘍・皮膚科、リハビリテーション科、放射線科
病 床 数	197床 ■ 一般病棟：68床 ■ 緩和ケア病棟：20床 ■ 回復期リハビリテーション病棟：44床 ■ 地域包括ケア病棟：65床
看護体系	10対1入院基本料 ■ 緩和ケア病棟：7対1 ■ 回復期リハビリテーション病棟：13対1 ■ 地域包括ケア病棟：13対1
職 員 数	総数 319名(令和5年4月1日現在)



募集要項

募集基準	<ul style="list-style-type: none"> ■ 看護学校（2024年3月）卒業見込者 ※ 中途の方は、個別に日程調整を行いますので、お問合せください。
募集人員	5名程度（2024年4月1日採用）
試験について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新卒者試験日時 2023年7月6日（木）13：30～ または 7月11日（火）13：30～ ※既卒の応募も可 ※当日の詳細は、応募書類到着後、担当者から連絡をします。 ※上記日程が難しい場合は、お問合せください。 ■ 試験内容は「適性検査」「面接」「作文」「筆記試験」となります。 ■ 定員に達しない場合は、9月中に2次募集予定
応募必要書類	<ul style="list-style-type: none"> ①履歴書（写真貼付） ②卒業見込み証明書（既卒者は看護師免許証の写し） ③成績証明書（卒業見込み者のみ） ④職務経歴書（既卒者のみ） <p style="text-align: center;">※応募書類は、2023年6月29日（木）必着</p>
勤務時間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2交代制 【日勤】8：30～17：00（休憩1時間） 【夜勤】16：50～翌8：40
給与等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国家公務員の給与に準ずる。 ※経験者は、看護師免許取得時からの経験年数を加算。 ■ 定期昇給（年1回、毎年4月1日、国家公務員の俸給表に準じる） ■ 賞与（期末・勤勉手当）：令和3年度実績(4.452ヶ月分支給) ※なお、採用年度(4月1日採用者)は、約3.9524ヶ月分となります。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 給与モデルの一例 短大2卒の場合の総支給額 283,600円 （内訳） ・基本給 197,000円（新卒者初任給） ※大卒の基本給は213,200円 ・諸手当 37,000円 ・住居手当 28,000円（家賃により変動。上限28,000円） ・交通費 10,600円（通勤距離、通勤手段により変動） ・処遇改善手当 11,000円 </div>
休日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4週8休 その他国民の祝日、済生会創立記念日（5月30日午後）、お盆（8月15日午後）、年末年始（12月29日～1月3日の6日間。変動あり）、夏季休暇3日間 ※夏季休暇3日間と有給を利用した1週間休暇を認めています。
福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療費減免制度（本人、配偶者、職員の扶養となっている子） ■ 忘年会費補助 ■ メモリアル休暇 ■ レクリエーション（バーベキューや職員旅行等） ■ 済生会プレミアム（各種割引チケットなど） ■ 団体保険（医療保険、死亡保険、自動車任意保険） など



看護部の理念

1. 患者さんの人権尊重を基本に、優しさと思いやりをもった看護を実践します。
2. 地域住民との連携を強め、看護活動を通して地域に貢献します。

済生会飯塚嘉穂病院 看護職員現任教育

目的

1. 病院の理念・看護部の方針に基づき、専門職業人として、より質の高い看護を提供できる。
2. 看護観を高め、さらに人間としての自己実現を目指す。

目標

1. 日常の看護をとおして自己成長を遂げることができる看護の場を、自ら積極的に創り出していけるような能力の開発をおこなう。
2. 進展する医療に対応し、患者に密着した看護過程の展開能力を養うように援助する。
3. 看護の本質を迫及し、看護の専門性を確立するための研究活動を充実させるように推進する。
4. 地域住民のあらゆる健康問題のニーズに応えられるように知識、技術、態度を養うための教育的援助をおこなう。

当院の目指す看護師像

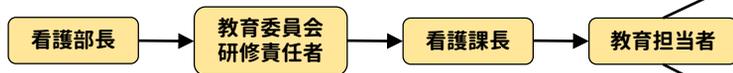
1. 人の生命および人権を尊重し、個々の権利・ニーズ等を看護師の倫理綱領に則り考えられる看護師
2. 人の痛み、悲しみ、喜びを感じられ、相手の立場に立って物事を考えられる感性豊かな人間性をもった看護師
3. 専門職業人として生涯自己学習や研究をとおして、自己啓発の姿勢を持つ看護師
4. 患者・家族、患者を取り巻くすべてのことに目を向け、患者に支援できる看護師

働きやすい
職場です!

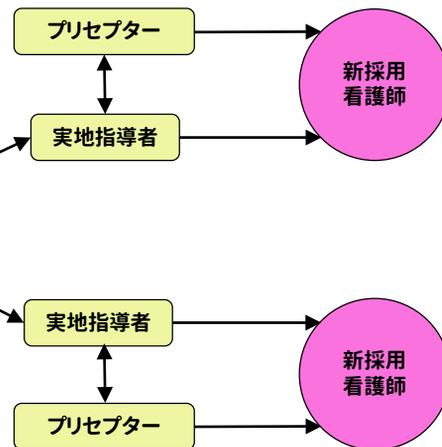


看護実践能力段階別評価指標

1. 実地指導者とプリセプターの2名体制で新人看護師のサポートにあたります。
2. 既卒者に対しては、状況に応じて実地指導者を配置しています。



実地指導者：病棟など、現場で看護業務について指導を行う担当者
プリセプター：現場で指導も行うが、新採用者の相談役にもなる



教育機関・研修機関

院内研修

教育委員会の年間計画による院内外講師を招いての医学・看護学一般教養講演に加え症例研究発表等を行っています。

院外研修

済生会本部研修および看護協会・県病院協会による研究・研修会への参加等を計画しています。
また、認定看護師教育への支援を行っています。



BLS研修風景

看護部長からのメッセージ

済生会飯塚嘉穂病院は、「地域医療・癒し・健康」を基本理念として、地域に密着した信頼される病院を目指しています。私たちは、病院理念の元「優しさと思いやりをもった看護実践」を目指し、その方らしく過ごせる療養環境の提供や、退院後に生活の場で困らない看護援助を共に考えることを大切にしています。患者さんに満足していただける看護を提供するためには、看護職員一人一人が自立した看護実践を行うことが求められます。そのためには、専門職業人としての自覚を持ち、学ぶ姿勢を持ち続ける必要があります。看護師個々のキャリアアップを支援するために院内教育として、新人看護職員研修、年次別卒業教育、クリニカルラダーを取り入れた教育体制をとり、認定看護師や糖尿病療養指導士資格の取得への支援も行っています。平成27年度より導入したフットケア外来では、糖尿病看護認定看護師や糖尿病療養指導士が主体となり、合併症予防や療養指導を積極的に行っています。

看護職員のみなさまが長く働くことができる職場環境を整えること、看護で患者さんに選んでいただける病院づくりを行いたいと考えています。

荒木 頼子

看護部各部署紹介

外来

外来では、10の診療科（内科・呼吸器内科・循環器内科・神経内科・外科・整形外科・皮膚科・眼科・心療内科・緩和ケア科）と内視鏡室・救急外来・手術室・サプライ・健診センターでの看護業務を行っています。看護外来（フットケア）も開設しており、患者さんにあった症状の改善や自己管理の支援なども行っています。

病棟とは違い、日々異なる患者さんとの出会いの中で新たな発見から、スタッフ一人一人が成長していける場所です。一期一会の気持ちと明るい笑顔を備えて、一緒に成長していきましょう。

看護課長 山下 夏紀

緩和ケア病棟（1階）

当院は、平成23年に筑豊地区で初めての緩和ケア病棟を開設しました。緩和ケア病棟は、がんの治療が難しくなった患者さんやご家族に対し、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面からのケアを行うところです。

患者さんが残された時間をご家族と共に穏やかに、その方らしく過ごして頂けるようなケアの提供を心掛けています。そして、季節の催しものや誕生会などを行い、患者さんとご家族が思い出に残る楽しい時間を過ごして頂けるよう努めています。

看護課長 尾崎 昌子

回復期リハビリテーション病棟（3階）

「笑顔で挨拶・細やかな心配り」をモットーに、明るく元気な職場です。回復期リハビリテーション病棟は、在宅復帰に向け医師・看護師・看護助手に加え、専属のセラピスト（PT・OT・ST）、MSW、管理栄養士とともにチームで協働し、日常生活の援助を行っています。日々の関わりの中で、徐々に改善していく患者さんの状況を数多く経験することができます。ADLが改善することで意欲の向上や認知症患者さんに良い変化をもたらし、これらのひとつひとつが私たちの“やりがい”に繋がっています。私たちと一緒に働いて、この感動を味わってみませんか？

看護課長 山上 塔子

4階病棟

気管支喘息や肺がん、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、肺炎（間質性肺炎など）等、呼吸器内科を中心に受け入れている一般病棟です。呼吸器内科では、肺結核やインフルエンザなどの感染性が高く隔離処置を行わなければならない患者にも対応しますので、院内感染を防ぐためにウイルス対策をしっかり行っています。常日頃から予防を心がける生活習慣をつけることも看護師に課せられた大きな役割と考え、嚥下訓練や口腔ケアを行い誤嚥性肺炎予防、在宅酸素療法指導を多職種とチームで協働して行っています。そして、外科手術を行わずに抗がん剤治療を行う肺がん患者に対しては、治療の痛みやがんが進行することへの不安に寄り添い、患者本人と家族も含めた心身両面でのケアも行っています。退院後の生活を見据えた看護ケアの提供と患者さんが安心して療養できる環境を一緒に作っていきましょう。

副看護部長／看護課長 柴田 澄子

5階病棟

外科・整形外科、糖尿病、リウマチ、消化器疾患などさまざまな患者さんを受け入れている一般病棟です。糖尿病については、療養指導士の資格をとるチャンスです。専門の医師や先輩スタッフと一緒に学びませんか？糖尿病の個別指導で、患者さんともより深く関わられます。退院後の生活を見据えた看護はやりがいがありますよ。また、外科・整形外科の周手術期看護、内科疾患の検査や看護、化学療法についても学ぶことができます。何でもやってみたい！やる気と好奇心のある方、患者さんが安心して療養できる環境を一緒に作りませんか？「明るく、元気に、迅速に」を病棟の合言葉にしています。

看護課長 水上 さおり

地域包括ケア病棟（6階）

平成29年4月に地域包括ケア病棟を開床しました。地域包括ケア病棟は、在宅での生活に不安を持つ患者さんに対して、治療、療養・リハビリテーションを行い、自宅での生活が安心して暮らせるための支援を行う病棟となっています。患者さんが心身共に回復するために、医師や看護師、多職種によるチームでのサポートを行い、可能な限り住み慣れた地域で暮らせるための支援を行っています。また、生活習慣病の患者さんも多く受け入れており、指導を通じてスタッフ自身も成長できる機会となります。明るく、笑顔で、思いやりを持った対応に心がけ、一人一人がやりがいを持てる病棟作りを目指しています。

看護課長 日永田 里恵

memo



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 福岡県済生会飯塚嘉穂病院
福岡県飯塚市太郎丸265 TEL 0948-22-3740 E-mail jinji@iizuka-kaho.jp

